



あげなっ子だより

第24号 平成30年6月5日(火)

うるま市立あげな小学校

電話 098-972-3566

発行 校長 平良好光

折り返しの6月 教育活動の充実をめざして

新年度がスタートして早2か月が経ち、1学期の折り返しの6月に入りました。これまで、家庭訪問や日曜授業参観等、学校行事へのご協力、ありがとうございました。

6月3日(日)に体育館で実施されました学校経営説明会では、多くの保護者・地域の方々のご参加をいただきました。

今年度の学校経営方針、めざす児童の姿「気づき・考え・実行」する子の育成、あげなっ子育成プランとして『確かな学力』の向上、『豊かな心』の育成、『健やかな体』の取組みについてご説明しました。

目標達成をめざして全職員一丸となって教育活動の充実に取り組んでまいります。また、その結果についても平成31年1月にご報告をいたします。保護者、地域の皆様のご理解とともに、ご支援ご協力をお願いします。



《児童の活躍状況》

- ★あげな小学校男子ミニバスケットボール
 - うるま市長杯ミニバスケットボール大会優勝(5月19日)
 - 小学生ミニバスケット交流奈良県大会派遣
- ★西原ピース(軟式野球)
 - スポーツ少年団北部ブロック少年軟式野球交流大会3位(5月20日)
 - 九州ブロック佐賀大会へ派遣
- ★照屋龍心(6年)
 - 全国ダンスカップ2018沖縄予選大会優勝(5月6日)
 - 全国大会ファイナル東京大会へ出場(8月)

《6月の行事予定》

- 3日 日曜参観・学校説明会
PTA総会
- 4日 振替休日
- 8日 避難訓練(不審者)
- 11日 内科検診(～13日)
- 21日 平和集会
- 23日 慰霊の日
- 26日 5年宿泊学習(～27日)

《7月の行事予定》

- 3日 職場体験(前原高校～5日)
- 13日 日本漢字検定
- 16日 海の日
- 20日 1学期終業式
- 21日 PTA夏祭り(予定)
- 24日 サマースクール(～26日)
個人面談(～26日)

《プール開き》

5月18日(金)にはプール開きが行われました。プール管理人の恩納洋吉さんがプールを掃除してくれたおかげで、今年もとてもきれいになりました。

安全祈願の後、プールでの約束をみんなで確認しました。卒業までに25m以上泳げる子をめざして、安全で楽しい水泳学習に取り組んでいきます。

《歯科検診終了》

今年度の歯科検診が5月17日で終了しました。学校歯科医の大嶺裕先生から、下記の助言がありました。

- 1 検診後の感想
 - 歯磨きは十分ではなく、磨き残し(汚れ)が見られる。
 - 昨年と同じで、虫歯のない子(治療済含む)と虫歯が多い子の両極端の状況がある。虫歯は治療しないとひどくなる一方なので、早めの通院治療をした方がよい。
- 2 歯の健康のために
 - 鏡を見ながら歯磨きをすると磨き方もよくなる。
 - 間食は時間や回数を決める。長時間食べ続けることはよくない。
 - フッ素を塗ることも効果的である。
 - 4か月～半年に1回は定期検診して歯垢を取り除く。



歯科検診の様子

《交通安全へのご協力願い》

朝の登校時間帯、学校周辺道路は車を利用して登校する児童の降車のため、交通渋滞や徒歩登校児童の安全確保の問題が毎年でています。とくに雨天時は見通しも悪く危険です。徒歩登校の取組みとやむをえず車を利用する場合には少し離れた安全な場所で降りるなど、交通安全へのご協力をお願いします。

2 場 所 あげな小学校
3 申込締切 6月〇日 ※受験する検定料は申込用紙に書かれています。

《総会終了 P T A活動スタート》

5月28日(日)、平成28年度P T A総会が無事終了しました。これまで、あげな小学校P T Aの中心として活動していただいた旧役員の皆様、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。新役員・会員になられた皆様、引き続き平成29年度も役員・会員の皆様、本校教育活動の充実のために、ご理解・ご協力をお願いします。

また、総会終了後、新職員、新会員の歓迎会を開いていただきました。食事を一緒にしながら、保護者の皆様との交流を深め、有意義なひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

P T A活動は、子どもたちの健やかな成長を目的にした活動ですが、会員の皆様がP T A活動を通して子育ての視野を広げたり、新しい人間関係を作るなど、共に成長していくP T A活動になればと願っています。

8020 運動

80歳になっても自分の歯を20本以上残そうという厚生労働省の提言。現在、70歳では親知らずを除く上下28本の歯のうち、平均8本しか自分の歯が残っていない。歯が失われる原因はムシ歯と歯槽膿漏であるが、特に20代から40代にかけての手入れの悪さもその一因であるといわれている。このため、歯槽膿漏早期発見のための検診の強化や手入れ法の指導、歯磨きの励行などをはかり、80歳で20本の達成を目指している。